

事例名			
レポート作成時の情報収集に関する ICT の活用事例			
校種・学年	高等学校・3年		
教科・科目・単元・題材	地理歴史科・歴史総合		
学校名〈任意〉	京都府立清新高等学校	事例報告者氏名〈任意〉	深澤 岬
機能名（アプリ名）	ロイロノート・Microsoft Copilot (AI ツール)		
ICT 活用のポイント			
<p>AI技術の活用が普及していく中で、自身の発信する情報に責任を持つこと、新たな技術とうまく付き合っていくことの両方が社会的に求められる。授業でもより良い活用の方法を提示し、以下の力をつけさせたい。</p> <p>① 情報源を明らかにし、生徒自身が作成したレポートに責任を持つことができる。</p> <p>② web サイトや AI の持つ情報の特徴について理解したうえで上手な活用を行うことができる。</p>			
活用場面			
<p>R6・R7 歴史総合の授業では単元ごとのレポート課題を中心に評価を行っている。レポートの課題として歴史的事象の原因や影響を説明するもの、学びを抽象化し自身の考えを説明するもの、を課している。作成するうえで情報源として webサイトの利用やAIの活用を認めているがWikipedia・AIの解答をそのまま転用する場面が見られたため情報源として活用する際の注意点をロイロノートを利用して実感させる取り組みを行った。</p> <p>●Wikipediaの記事作成を疑似体験させる取組（「ロイロノート」アプリの共有ノート（共同編集）を利用）</p> <p>「クラス担任についての情報」をクラス全員が自由に書き込ませる活動を行い、その情報が不正確であったり、信ぴょう性があるものでないことを実感させた。Wikipediaの記事は同じような方法で作成されているものであり、情報源としての使用には注意が必要であることを共有ノート機能を利用して体験させた。</p> <p>●AIの活用について、どのように使うべきか考えさせる取組（Microsoft Copilot を利用）</p> <p>授業担当者の情報を AI を使って調べる指示をし、出てきた情報を共有させると類似する名前の人物について、様々なサイトを参照して誤った説明をする文章が生成された。この取り組みを通して情報源としてそのまま生成された文章を転用することの問題点を実感させた。</p> <p>その後、AI を上手に活用するためには、どのような指示が有効かを生徒に考えさせた。</p> <p>生徒より、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史を調べる際に自身のレベルに合った役立つサイトを聞く。 ・自身の書いた文章を添削してもらう ・話し言葉、箇条書きで書いた文章を再構成してもらう <p>これらの意見を他の生徒にも共有し、レポート作成に役立つAIの活用を促した。</p>			
授業者のコメント・児童生徒の主な反応等			
<p>この授業の以前はフランス革命に関するレポートを書く際に情報収集の方法がわからず、「フランス革命について教えて」といった単純な指示のみで生成された文章をそのまま転用していたが、授業以降は「第一次世界大戦の原因について、高校生にもわかりやすく説明した動画を教えて」という内容の指示を行い、情報収集にAIを生かすような変化が見られた。</p>			